

工事成績評定点の分布状況

- ・工事成績評定点(地方整備局全体)の平均点は約74点である。

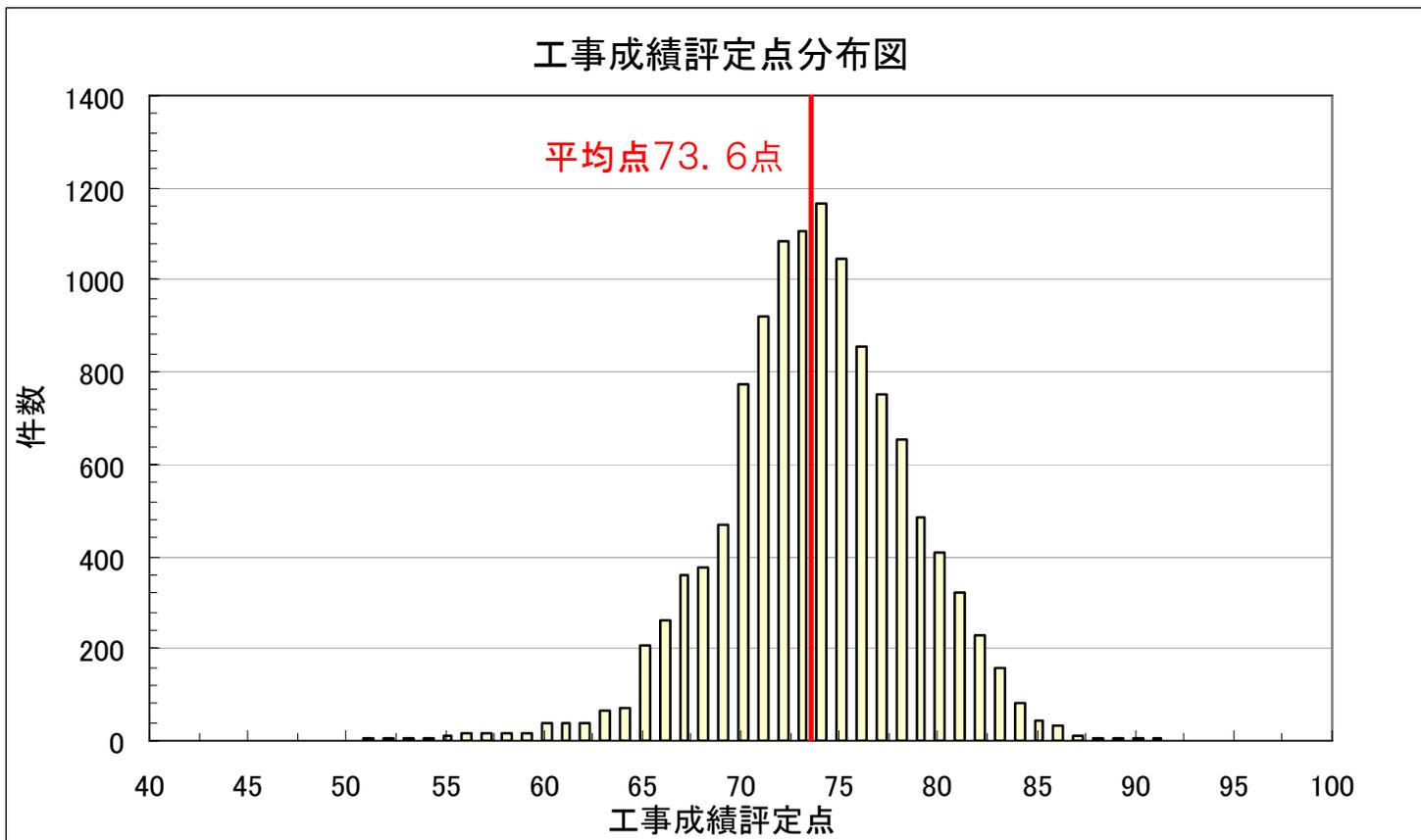


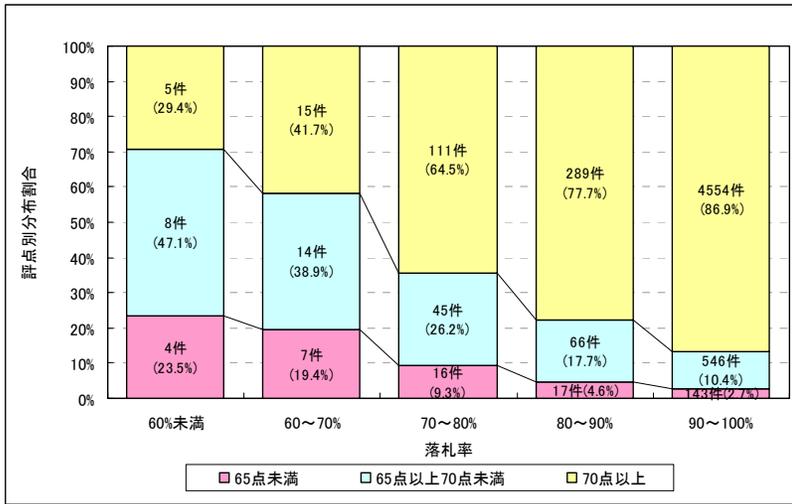
図 工事成績評定点の分布

平成15年度完成国土交通省直轄土木工事対象(12,176件)
(※営繕、港湾空港事業を除く)

落札率と工事成績評定点の関係

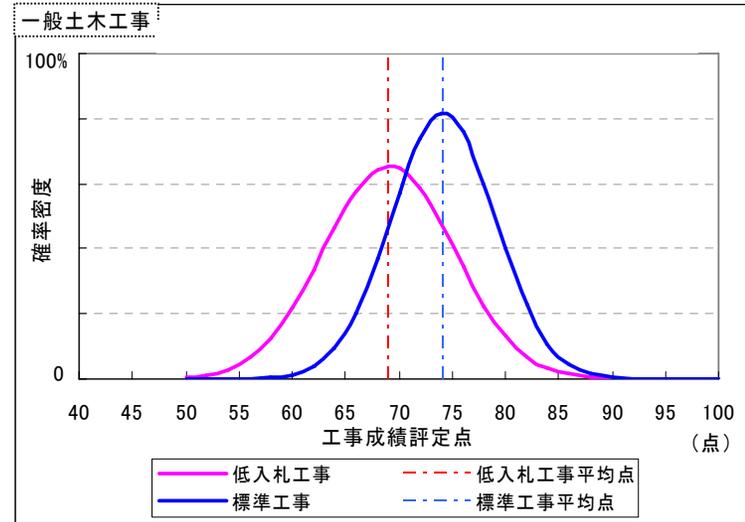
- ・落札率は低くなるほど工事成績評定点が低くなる傾向にある。
- ・特に、落札率が低くなるほど65点未満の点数を取る割合が増大し、70点以上の点数を取る割合が減少する。

◇落札率別の工事成績評定点の件数割合



平成15年度完成国土交通省直轄土木工事のうち一般土木対象(5,847件)
(※営繕及び港湾空港事業を除く)

◇工事成績評定の分布状況〔標準工事と低入札工事比較〕



平成15年度完成国土交通省直轄土木工事のうち一般土木対象(5,847件)
(※営繕、港湾空港事業を除く)

◇落札率毎の母集団の相異〔T検定・尤度比検定による分析〕

・T検定や尤度比検定による分析により、落札率の範囲毎(100~90%、90~80%、80~70%、70%未満)の各母集団は、平均値や標準偏差の観点から異なる集合である。

- ※標準工事: 当初契約金額が調査基準価格以上である工事
- ※低入札工事: 当初契約金額が調査基準価格を下回る工事
- ※調査基準価格=(直接工事費)+(共通仮設費)+(現場管理費の1/5)

『T検定』 : 2つの母集団の平均に差があるかについて分析する統計的手法
『尤度比検定』: 2つの母集団に関してたてた仮説(ex平均値、標準偏差)について仮説が尤もらしいのかを比較・分析する際に用いられる統計的手法

中間技術検査を実施している工事の工事成績評価について

- ・中間技術検査を実施した工事は、実施しない工事より工事成績評価が高い。
- ・中間技術検査の実施回数は多い程工事成績評価が高くなる傾向にある。

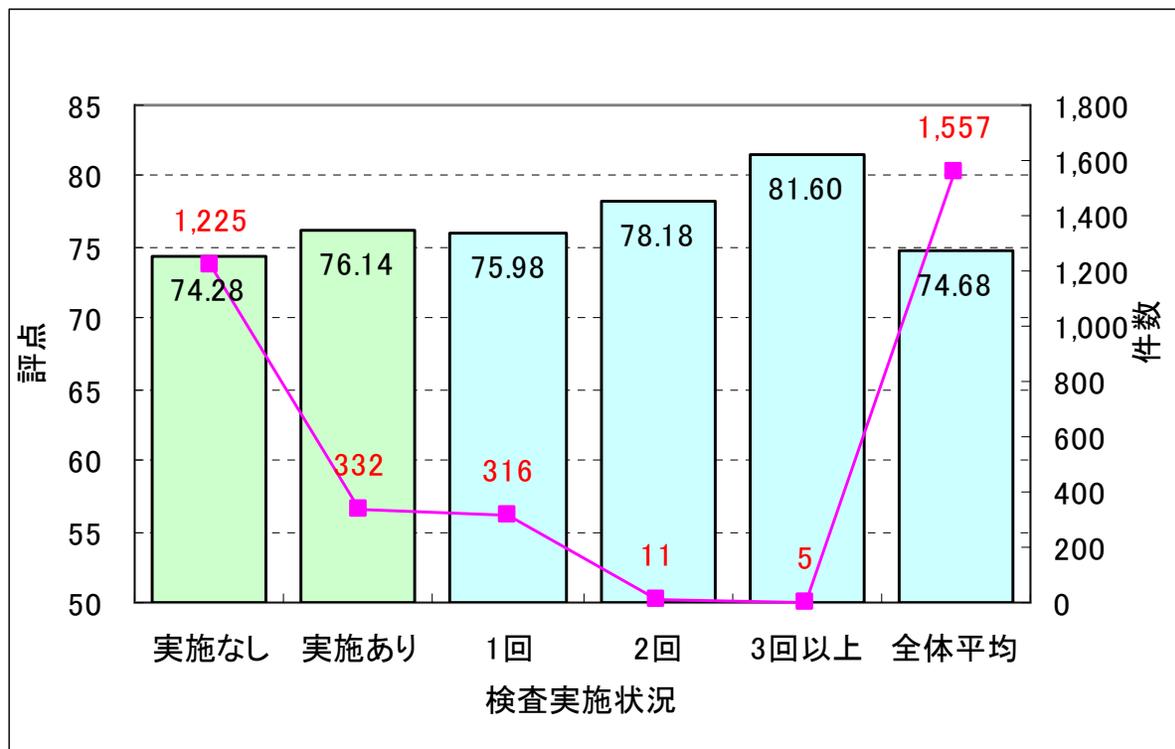


図 中間技術検査実施回数別の工事成績評価

平成15年度完成関東・北陸・中部地方整備局発注土木工事のうち
一般土木対象(1,630件) (※営繕、港湾空港事業を除く)